

ミタカ天気ミカタ隊 市民のお役に立ちたいプロジェクト 学生が気象予報士と共に生活情報を充実させ、自然と親しみ豊かな生活を

となりのミカタ隊

山神明理¹⁾、堀切七海²⁾、小平温太²⁾

ゼミ教員 柴田彩千子¹⁾、研究協力者 後藤範子¹⁾ 田崎智憲¹⁾ 中島翔平¹⁾ 根本裕美¹⁾ 樋口悠太¹⁾

1) 東京学芸大学大学院 教育学研究科 教育支援協働実践開発専攻

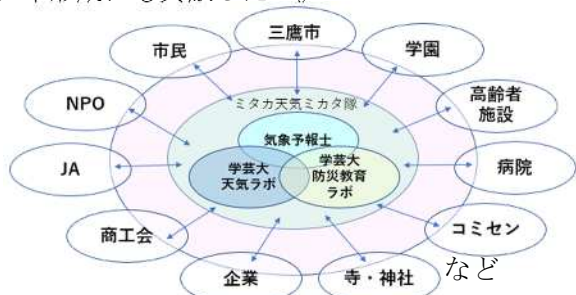
2) 東京学芸大学 教育学部 柴田ゼミ

キーワード：学生と気象予報士による生活情報支援，防災まちづくり，共助によるコミュニティづくり，情報難民を無くす，自然と共にあるまちづくり

1. はじめに

天気予報は、未来が分かる唯一のコンテンツと言っても過言ではない。三鷹の未来の天気やそれに伴って何に気をつけるべきかが分かれば、人々の生活をもっと豊かにできる。

そこで今回提案するのは、学芸大学の「お天気ラボ」、「防災教育ラボ」、三鷹市の地形や人々の暮らしを熟知した三鷹市専属の「気象予報士」からなる「ミタカ天気ミカタ隊（仮）」が、市の様々な団体と協働しながら生活に役立つ気象情報や防災アイデアを伝えるものである。本プロジェクトを通して、三鷹市民が一体となって自然・天気を楽しむ豊かな生活を実現し、いつでも助け合えるコミュニティ形成にも貢献したい。



ミタカ天気ミカタ隊と地域の協働イメージ

2. 三鷹の天気予報活用の現状

【三鷹市防災課】気象庁とのホットラインがあり、大雨の際の天気やイベント前の天気は相談できる仕組みになっている。気象庁との双方のコミュニケーションで市民の安全が守られている。

【三鷹市民】インターネットの天気予報が充実し、市民の中には民間気象会社の運営するサイトで、

三鷹市のピンポイントの予報を確認している方もいるようだ。ただ、現運用中の三鷹市の天気予報は、時間ごとの天気や風、気温や雨量が自動計算された情報に限られている。そこから更に踏み込み、市民が“何に気をつけるべきか”が容易に分かる情報を伝えることにより、更に便利で豊かな生活を実現することができる。

3. 提案

その1: 定期的にイベントを開催

顔の見える関係づくりで安心のまちづくり

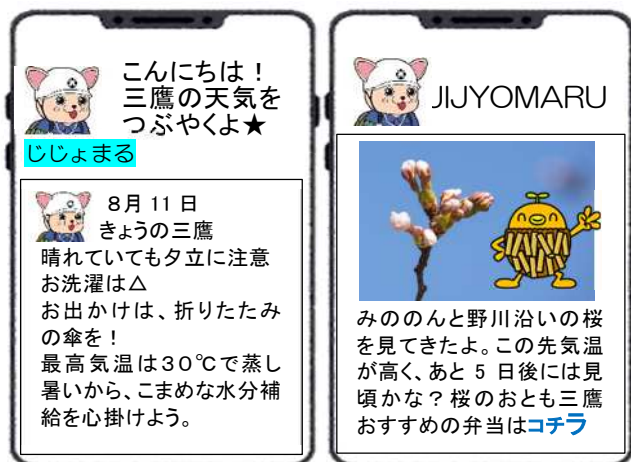
生涯学習課や児童青少年課、ミタカ天気ミカタ隊が協働して、学校や放課後こども教室、学童、元気創造プラザ、高齢者施設などで、市民を対象としたイベントを開催することを提案する。天気の不思議について知ることができる講座や、三鷹市の天気・自然カルタづくり、空の写真コンテストなどを行い、三鷹市の生活をより楽しめるようにしたい。小学生～高齢者まで、幅広い世代を対象にし、多世代間での交流を意識しながら開催していく。この結果、顔の見える安心できる関係づくりに繋がる。こうした平時のコミュニケーションにより、有事の際にスムーズに声を掛け合うことが可能になる。

その2: 三鷹市に特化した気象・防災情報を発信

多メディア活用で情報難民を無くす

①企画部広報メディア課、ミタカ天気ミカタ隊が協働して、SNS できょうの天気や近隣の桜・紅葉情報、野川の蛍情報などを発信し、三鷹での生活をよ

り楽しめるようにする。Twitter や Instagram は、翻訳機能もあるため、日本語の不自由な方も情報を受け取りやすい。



Twitter 活用例

Instagram 活用例

気象情報は、「三鷹でどのような現象が起こり、何に気をつけて欲しいかを明確に書くこと」をポイントに作成していく。運用中の Twitter「東京都三鷹市」アカウントの防災無線の内容もリツイートして拡散させ、平時と有事の両面で市民の生活を支える。

②高齢者も視聴しやすいラジオのコミュニティ FM・ケーブルテレビで詳しい天気解説を発信する。

2019 年台風 19 号の際に感じた課題を大沢地区の住民に聞いたところ、高齢者の方から「ラジオやテレビつけても三鷹市の情報が分からず、情報の取捨選択が難しかった」との声が聞かれた。

そこで、天気ラボのメンバーと気象予報士が「J;COMチャンネル 武蔵野・三鷹」「むさしのFM」で天気予報を伝えることを提案する。天気予報はデータ放送にとどまらず、身近な情報をタイムリーに分かりやすく伝える。有時には放送回数を増やすことでテレビやラジオをつけるといつでも三鷹の天気・ライブカメラの川の状況・危険度などを知れるようにしておく。

日本語の不自由な外国の方にも伝えるために、やさしい日本語を使い、ケーブルテレビでは、多言語の気象情報ページ(①で示した SNS)を参照できる QR コードを画面横に表示する。これにより、いつでも・誰でも・簡単に三鷹の気象・防災情報を知ることができる仕組みが作れる。

その3: コミュニティサイトで

三鷹市の自然・天気を軸に繋がる

三鷹市の自然・天気を楽しむことができるコミュニティサイトを立ち上げる。ページのメインは、スマートフォンで簡単に入力・閲覧できるカレンダー機能である。市民が日々撮った、身近な自然・天気の写真を共有し、コメントすることができる仕組みとなっている。



当日以降の一週間程度は、天気予報を掲載する。ミタカ天気ミカタ隊が掲載した「寒くなる！おすすめグッズ紹介」などのポイントをクリックすると、商工会の方に学生がインタビューしたおすすめグッズを見ることができる。JA の新米フェアや、国立天文台のイベントも記載することができ、市民が一目で有益な情報を見られるようにする。

平時は、日々の生活を楽しむ場となり、大雨や災害時には、地元の方の撮った危険なエリアなどの写真や情報を共有できる重要なツールとなる。

4. おわりに

天気の話は、同じ空の下で暮らす人と人とを繋げるための有効なコンテンツといえる。

市民や学生、自治体、企業など、様々な人が天気や自然に親しみながら、平時・有事に関係なくいつでも助け合えるコミュニティづくりを実践する。